

学校だより青南

3月号

令和6年2月29日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



「命」について考えよう

校長 野口 直樹

2月は、ふれあい月間でした。2月19日の朝会では、2月の学校だよりで紹介した「美しい生活」「美しい行動」を紹介しながら、言葉遣いと行動について話しました。

子どもたちの言葉遣いについては、学校評価でも保護者の皆様から寄せられているものです。学校でも、繰り返し指導をしている所ですが、言葉や行動で人を傷つけてしまう場面が見られます。子どもたちの言葉かけの不用意さの背景には、命ということへの思いの軽さを感じてしまいます。10年程前に偶然知り、大変感銘を受けた詩を紹介します。

「命」
命はとても大切だ
人間が生きるための電池みたいだ
でも電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐにとりかえられるけど
命はそう簡単にはとりかえられない
何年も何年も
月日がたつてやっつと
神様から与えられるものだ
命がないと人間は生きられない
でも
「命なんかいららない。」
と言って
命をむだにする人もいる
まだたくさん命がつかえるのに
そんな人を見ると悲しくなる
命は休むことなく働いているのに
だから私は命が疲れたと言うまで
せいいっぱい生きよう

宮越 由貴奈

廣濟堂あかつき「小学生の道徳3年」より

作者の宮越 由貴奈さんは、1998年に11歳で生涯を閉じました。彼女は、6歳の時に発症した神経芽腫という病気と5年間闘っていました。長期に及ぶ治療の中で、病院の院内学級で学んでいる時に書いた詩です。亡くなる4か月前に書いたものだそうです。

彼女は、長い闘病生活の中でたくさんの生と死を見てきたと思います。その生活の中で「命」ということへの思いを深めていったのだと考えます。お母さんは、この詩を彼女が多くの人たちと知り合い、経験し命の尊さを身近に感じて、その成果として作ったのだらうと言っています。彼女は、詩で書いている通り「せいいっぱい生きた」のだと思います。青南小学校の子どもたちも、由貴奈さんのように、自分の命を思い遣り、他者の命も思い遣るそのような気持ちをもって欲しいと強く願います。また、それができる子どもたちであると信じています。どうかご家庭でも、命についてお話しください。

今年度も、学校を支えてくださる多くの皆様のおかげで教育活動を行っていくことができました。学校主催・PTA主催の様々な行事にボランティアとして参加いただいた保護者・地域の皆様の献身的な支援ありがとうございました。また、様々な事がある中、子どもたちの背中を押し、日々学校へと送り出してくださった青南小学校全ての保護者の皆様ありがとうございました。来年度も引き続き皆様と共に教育活動を進めてまいります。

【6年】

卒業まで1か月を切りました。毎日をいつも通り過ごしている中でも、6年間共に過ごしてきた仲間との時間を大切に噛みしめている様子もうかがえます。

明日は「ありがとう SEINAN」、明後日は「ありがとう6年生」と、卒業に向けた行事があります。「ありがとう SEINAN」では、お世話になった先生方や地域の方々に、メッセージや運動会・青南フェスタのダンスで感謝の気持ちを伝えます。「ありがとう6年生」では、各学年から6年生に向けて、感謝の出し物があります。そのお礼に、6年生は学年合奏を行います。一人一人が様々な思いをもって、練習に励んできました。きっと、その思いを受け取ってもらえることと思います。

引き続き、中学校に向けて、残り1か月を歩み出す6年生を見守っててください。

【草田男展報告】

「降る雪や 明治は遠く なりにけり」

これは、本校の玄関の句碑に刻まれている、本校の卒業生である中村草田男さんの有名な一句です。草田男さんは、純真な小学生の心を永久に失うまいとの願いが込められているものだと語っておられます。

さて、そんな草田男さんにあやかって、本校では毎年2月に草田男展と称し、俳句を作って鑑賞しています。どの俳句にも、今の子どもたちにしか見ることのできないもの、感じられないものが詠まれており、その世界に引き込まれます。純真な小学生の心が、きっとそこに感じられるはずです。

【生活指導部】

【身のまわりをきれいにしよう】

身の回りのきれいさは、その人の心のきれいさが反映されると言われています。

これまで生活してきた教室をはじめ机・椅子、ロッカー、学習用具等、きれいに掃除や整理整頓、手入れをすることで、感謝の気持ちや本年度の振り返り、来年度への期待感をもたせる指導を行っていきます。また、身の回りの環境をきれいにするこことで、心を整えて相手を思いやる気持ちを育み、友達との関わりを一層深め、一年間を締めくくられるよう見守っていきます。

【栽培委員会】

栽培委員会では、校舎前の花壇で様々な植物を育てています。土を耕し自分たちで選んだ種をまくところから始め、水やりや雑草抜きなどに日々一生懸命お世話をしています。

毎日お世話をしていると、芽が出たり花が咲いたりたくさん発見や喜びがあります。さらに収穫した野菜は、学校の給食に出してもらえることもあり、自分たちで育てた野菜を学校のみんに食べてもらえることを喜んでいます。栽培委員が心を込めて育てた野菜を、よく味わって食べてください。

【アートクラブ】

ものづくりが好きな子ども達が集まり、図工室で活動しています。4月にやってみたいことを皆で出し合い、多数決で選ばれた案を基に年間計画を立てました。これまで、スライム、宝石せっけん、プルプルせっけん、ミニ黒板、ペンケース、消しゴムハンコの制作を行ってきました。初めて扱う材料や難しい作業は、学年を超えて教え合い、アットホームな雰囲気の中で仲睦まじく活動しています。3月のプラ板制作も、どんな活動になるか今から楽しみです。